

企業名：株式会社村田製作所

レポート名：Murata Value report

## 1. この会社が目指す姿が理解できるか

Murata Value report（以下レポート）において、一貫して社是を重んじる姿勢が見て取れる。村田製作所の競争優位性はこれらの社是がベースになっている部分もあり、会社としての意識の高さを感じた。

また、p.29 から数ページにわたり「vision2030」として、村田製作所が将来ありたい姿が述べられている。ステークホルダーとの共創を中心に据え、社会基盤に深く根付き「今を支えるムラタ」、社会課題解決を加速する「未来を切り開くムラタ」、持続可能な事業プロセスを追求する「社会と調和するムラタ」の三つを将来のありたい姿として挙げている。また、これらを実現するための成長戦略も事細かに述べられており、長期構想に対する真剣さを感じた。

## 2. この会社の競争優位性が理解できるか

レポートにて村田製作所が持つコンピタンスとして3つ挙げている。1つは先を読む力である。村田製作所は社是に「信用の蓄積につとめ」とあるように、顧客とのつながりを大切にしている。顧客とのコミュニケーションを通して、先行してニーズを引き出している。

# 社 是

技術を練磨し  
科学的管理を実践し  
独自の製品を供給して  
文化の発展に貢献し  
信用の蓄積につとめ  
会社の発展と  
協力者の共栄をばかり  
これをよろこび  
感謝する人びとと  
ともに運営する

『Murata Value report 2021』  
(2021年)3頁より引用



『Murata Value report 2021』(2021年)19-20頁より引用

また、海外売上比率は 90%を超えており、それから形成されるグローバルなつながりを利用して、顧客のニーズを引き出している。

2つ目にニーズを形にする力である。村田氏製作所は材料から製品までの一貫生産体制を構築しており、技術を独自開発することで他社と比較した優位性を築いている。また、海外に広く展開しているにもかかわらず、工場のうち 60%を国内に置いており、コロナ渦で混乱した物流にもある程度耐えながら、製品を作り続けることができた。この安定性もニーズを形にする力の一つといえるだろう。

3つ目に価値を届ける力である。先にも書いたように、村田製作所は生産における多くの開発を自社で行っているため、スピーディかつタイムリーに顧客へ価値を提供することができる。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

シェアを獲得し続けることができる限り、村田製作所の競争優位性を持続的に発揮することができるだろう。安定性もある程度あり、将来への持続性もあると思う。

### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

将来を担う世代が、会社の 10 年後、20 年後のあるべき姿について考える「備えプロジェクト」を立ち上げた。ライフスタイルの変化とビジネスモデルの在り方、そして変化を踏まえて現時点で準備すべき課題などを議論している。また、イノベーションを促進するための人材育成にも尽力している。若年の従業員に対して「キャリア形成プログラム」を実施しているほか、階層ごとの教育研修制度を用意している。

将来世代にもかなり手厚くキャリア育成などのプログラムを用意しており、人的資本の価値向上を達成できると感じた。

### 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

とくに改善する必要はないと感じた。全体的にわかりやすく首尾一貫した主張で村田製作所のポリシーがはっきりと伝わってきた。